

私たちを取り巻く世界は様々な情報にあふれています。それら各事象が持つ位置情報を利用して、各々を連携し解析を行うことができる「地理情報システム (GIS)」が近年より身近に利用が可能となっています。この GIS は、保健医療分野でも多く活用されており、疾病の地理的な集積・広がり等を可視化するなどの記述疫学分野をはじめ、様々なリスク要因への近接性測定など、分析疫学などでも利用が可能です。本セミナーでは、その GIS の保健医療分野での活用事例を紹介するとともに、無料で使えるオープンソースの GIS ソフトウェアである“QGIS” (QGIS Development Team) を利用して、簡単な使い方や機能の紹介を行います。GIS を使って、身近にあるバラバラに管理している情報の連結や、また医療機関までの近接性等の測定などにより、今まで地域社会で見過ごされていた課題等の可視化にもつながることを期待しています。